

# デジタルソースを再生する

別売の光ファイバケーブル (CA-LRD30D等) で接続したDVDナビゲーション (CN-DV2500D等) の電源を入れて、デジタルソースを再生してください。

## デジタル入力にする

デジタル入力にすると再生したソースの音声記録方式 (フォーマット) が自動的に判断され、インジケータが点灯します。



SOURCE ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、デジタル入力とアナログ入力が切り替わります。
- デジタル入力のときは、DIGITAL IN インジケータが点灯します。

フォーマットインジケータ



### お知らせ

- 再生するソースのフォーマットが認識される少しの間、音が途切れることがあります。
- フォーマットインジケータが全て消灯している場合は、デジタル信号がないときです。このときは P.14 ~ P.17 のどの操作をしても音声が出力されませんので、アナログ入力に切り替えて操作してください。(P.18 参照)

## ドルビーデジタル

### ドルビーデジタルフォーマット



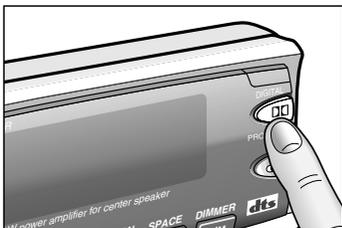
DIGITAL インジケータが点灯します。

音楽信号を左フロント (L)、右フロント (R)、センター (C)、左サラウンド (LS)、右サラウンド (RS)、サブウーファー (SW: 0.1チャンネル) の5.1チャンネルに分解して記録・再生する完全ディスクリット (分割) 方式です。

### ドルビーデジタルの信号フォーマットについて

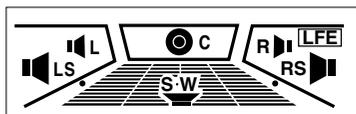
ドルビーデジタルは1チャンネル ~ 5.1チャンネルの信号フォーマットで記録されており、全てのソースが5.1チャンネルで記録されているとは限りません。信号フォーマットインジケータで、そのフォーマットを表示します。

## 出力モードを切り替える

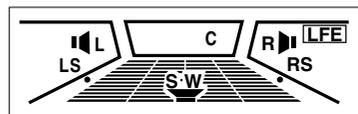


DIGITAL / PRO LOGIC ボタンを押す。

- ボタンを押すごとにモードが切り替わります。



記録されている信号フォーマット  
例) 5.1チャンネルサラウンド再生



### ダウンミックス

(2チャンネルステレオ再生)

C, LS, RS の信号を L と R に合成して出力します。

### お知らせ

ダウンミックスのときはセンタースピーカー・サラウンドスピーカーから音が出なくなり、全体の音量が多少変わります。